

記載の仕方

1. 事業実施主体

「組織の名称」は規約と同一名称としてください。

都道府県名		市（区）町村名	
1. 組織の名称			
2. 事業所所在地 (電話番号)	〒 — (— —)		
3. 代表者氏名			
4. 結成年月日	年 月 日		
5. 活動対象地域の人口	活動対象地域 人		

2. 事業実施主体の説明

・実施要綱における事業実施主体として認められることを、活動地域や活動内容等を含めて説明をして下さい。

例) ○○町内会は、松山市の中心部に位置し、○○のゆかりの地として知られている。地域内には○○神社や○○の句碑があり、歴史・文化にも親しみの深い地域である。現在、高齢クラブ、女性部、子ども会があり、それぞれ活発な活動を行っている。

3. 助成申請額

事業費総額（A）	一般財源等充当額（B）	助成申請額（A－B）					
15,050,000円	6,050,000円	9	0	0	0	0	0円

4. 助成申請事業の計画

(1) 助成申請事業の名称

施設又は設備の整備に関する事業の場合：

例) コミュニティセンターの建設と備品の整備

(2) 助成申請事業の趣旨・目的

事業実施に際し、重要性・緊急性及び実施に至る経緯（背景）や集会施設の利用内容等について記入してください。

例) ○○町内会は、高齢クラブの健康増進活動やこども会の季節行事など様々な行事を通じて地域の交流を深めていますが、現在、活動拠点となる集会施設がないため、隣町の集会所を借りて活動している状況です。そのため、集会所利用日が隣町と重なった場合は日程の調整が必要となり、開催日決定に苦慮しています。また、近くに集会施設がないため、活動しづらいという声が上がっています。

そこで、町内に新たに集会施設を建設し、地域の身近な場所で町内会の会議や高齢クラブ、こども会の行事を実施することで活発な地域交流を行い、コミュニティの活性化を図る。

(3) 助成申請事業の対象者

例) 町内会総会や役員会、高齢クラブやこども会の行事にて使用するため、〇〇町の住民全体が対象となる。

実施期間の起点は
令和9年8月下旬以降としてください。

「事業の完了」は、
所有権保存登記が完了(予定)日です。

(4) 助成申請事業の概要

- ① 実施期間：令和 年 月 日開始～令和 年 月 日完了
- ② 実施場所：
- ③ 実施内容

実施する事業の内容、実施方法等を具体的にわかりやすく記入してください。

例) 〇〇町集会所の新設

- ④ 収支内訳：別表ご参照

(5) 助成申請事業の期待できる効果

- ①事業の実施により期待できる効果・成果など

「どのような対象にどのような効果が期待できるか」、「他団体の模範となるような特色」を記入して下さい。

例) 〇〇町集会所を建設することで、町内の身近な場所に活動拠点を整備し、今まで以上に地域住民同士のコミュニケーションが活発化し、地域の連帯感を向上させ、コミュニティの醸成を図ることができる。

- ②事業の対象者

設備等の使用者	例) 町内の住民全体
使用人数	例) 300人

(6) 助成申請事業のスケジュール

- ① 事業を実施(開始)するまでのスケジュール

事業の事前準備等のスケジュールを記載してください。

例) 令和9年6月～8月 工事に向けて業者と打ち合わせ 9月 建設工事開始

12月 工事完了・検査引き渡し 令和10年1月 建物所有権保存登記完了・実績報告

(7) 助成申請事業の過去の活動実績

「過去のコミュニティ助成事業の助成実績とその概要」、「同様の事業を実施している場合はその概要」、「申請事業の分野について過去にどのような事業を実施してきたか」を記載してください。

例) 昨年度は、隣町の集会所を借用し、高齢クラブの健康体操教室やこども会のクリスマス会を実施するなど、地域の交流を深めました。

なお、過去に当町内会がコミュニティ助成事業の採択を受けたことはありません。

5. 宝くじの社会貢献広報の仕方

(1) 購入備品、設備等への広報表示

別紙ご参照

6. コミュニティセンターの利用見込について

以下の選択肢の中から、建設するコミュニティセンターの利用見込回数を1つ選び、番号に丸(○)を記入してください。

- 1 利用見込みが週に3回以上
- 2 利用見込みが週に1～2回
- 3 利用見込みが週に1回未満

※「1 利用見込が週に3回以上」の目安は以下のとおりです。

週3回利用 × 4週 × 12か月 = 144回/年

※同日に複数の団体が施設を利用する場合は、それぞれの利用を個別にカウントします。

(例：午前は町内会役員会で使用、午後はこども会で使用する場合は2回)